

トピックス

全国図書館大会10月にオンラインで開催	1
FBFジャパンプースを出展	1
出版統計	2

第108回全国図書館大会 群馬大会（オンライン）開催

第108回全国図書館大会群馬大会（主催：公益社団法人日本図書館協会、群馬県他／後援：一般社団法人日本書籍出版協会他）は10月6日（木）・7日（金）にオンラインで開催される（動画配信期間は、10月6日～11月30日）。今年の大会テーマは、「本と人が織りなす図書館の未来」。

大会初日は、図書館協会植松貞夫理事長の基調報告に続き、特別報告として「著作権法の改正は、図書館サービスにどのような影響を与えるか」をテーマに、生貝直人（一橋大学法学研究科准教授）、小池信彦（日本図書館協会著作権委員会委員長）、福林靖博（国立国会図書館利用者サービス部サービス企画課課長補佐）の三氏が報告する。

記念講演は、「若手作家が語る図書館と創作」と題し、群馬県出身の人気若手作家である、阿部智里氏（小説家）と如月かずさ氏（児童文学作家）のトークセッションが行われる。金原瑞人氏（法政大学教授・翻訳家）がコーディネーターを務め、創作活動、読書遍歴や図書館利用体験、出版文化への思い、図書館の存在などについて話を聞く。

2日目は、公共・大学等・専門図書館、利用者サービス、図書館情報学、政策企画、図書館の自由、資料保存、出版流通などをテーマにした16分科会が開催される。

出版関連の分科会は、**第12分科会「出版流通」**（当日ライブ配信のみ）。分科会テーマは「北米の公共図書館におけるマンガとラノベの所蔵」。北米における日本産マンガとライトノベルの受容、マンガのインターネット公開と著作権などについて、三人の専門家からの報告を聞く。また、日本における、マンガ、ラノベの図書館所蔵の浸透、出版者等によるネット上のマンガ提供や喫緊の問題である海賊版対策と併せて、図書館でのマンガ等の提供についてどのように考えるべきかが情報共有する。


【基調報告】椎名ゆかり氏（デジタルハリウッド大学）

【事例報告】佐藤美佳氏（コミックテラス）、大谷康晴氏（青山学院大学コミュニティ人間科学部教授）

大会参加者は、オンラインライブ配信のほか、初日の講演、分科会（ライブ配信を除く）を配信期間中視聴できる。概要は以下の通り。

- 開催日：10月6日（木）・7日（金）
- 配信期間：10月6日（木）～11月30日（水）
- 参加費：3,000円／群馬県内2,000円（オンライン大会の視聴、大会記録誌等）
- 申込締切：9月9日（金）
- 申込先：https://g-regi.com/library_rgst/form_top.php
- 詳細：<https://g-regi.jp/108th-taikai/>
（問合せ 同実行委員会事務局 Tel. 027-231-3008）

フランクフルト・ブックフェア2022 ジャパンプースを展開

 **FRANKFURTER BUCHMESSE** 世界最大規模のブックフェアであるフランクフルト・ブックフェア（ドイツ）が、今年の10月19日（水）～23日（日）に開催される。

日本書籍出版協会（小野寺優理事長）は、現地にジャパンプースを出展し、同ブースにはインプレスHD、オーム社、オーバーラップ、学研プラス、KADOKAWA、講談社、三修社、集英社、小学館、中央経済社HD、TOボックス、日本能率協会マネジメントセンター、ひかりのくに、福音館書店、ポプラ社、麗人社の16社が参集。日本の多彩な出版コンテンツを海外に向け紹介し、著作権輸出を目的とした商談が行われる。また、今年は海外に向けた出版物の紹介サイト「Japan Book Bank」や文化庁のメディア芸術事業、日本書籍翻訳促進事業がジャパンプース内にエリアを設け、官民による日本のコンテンツの発信力をより一層強化したブース展開を目指している。

（問合せ：日本書籍出版協会 03-6273-7061）

出版統計

書籍	7月期	前年同月比	1~7月期	前年同期比	書籍出回り	7月期	前年同期比	1~7月期	前年同期比	
新刊点数	6,115点	110.8	39,055点	96.7	推定出回数	5,415万冊	92.6	45,844万冊	94.0	
新刊推定発行部数	2,351万冊	101.7	15,493万冊	97.0	推定出回金額	682億円	93.7	5,785億円	95.4	
新刊平均価格	1,296円	106.4	1,259円	101.9	推定出回平均価格	1,260円	101.2	1,262円	101.5	
新刊推定発行金額	305億円	108.2	1,951億円	98.9	実売部数	7月期	前年同期比	1~7月期	前年同期比	
月刊誌	7月期	前年同月比	1~7月期	前年同期比	書	籍	3,076万冊	91.9	30,011万冊	93.9
発行銘柄数	1,723点	95.6	2,349点	97.5	月刊誌	4,096万冊	84.5	33,443万冊	83.0	
推定発行部数	7,262万冊	85.7	56,567万冊	84.7	週刊誌	1,629万冊	98.4	11,810万冊	92.3	
平均価格	702円	102.6	698円	104.6	実売金額	7月期	前年同期比	1~7月期	前年同期比	
推定発行金額	510億円	87.9	3,949億円	88.7	書	籍	397億円	93.1	3,924億円	95.4
週刊誌	7月期	前年同月比	1~7月期	前年同期比	月刊誌	285億円	86.6	2,318億円	87.1	
発行銘柄数	73点	98.6	78点	98.7	週刊誌	64億円	97.6	464億円	94.2	
推定発行部数	2,756万冊	91.5	20,231万冊	90.7	実売金額合計	746億円	90.9	6,706億円	92.3	
平均価格	403円	99.3	404円	101.8						
推定発行金額	111億円	90.8	818億円	92.3						

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したのもの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[提供 出版科学研究所 (TEL03-3269-1379)]

INFORMATION

■ブックフェスタしずおか

日時：10月1日（土）～10月31日（月）
 コア会場：グランシップ静岡（他、静岡県全域）
 内容：本に関する活動をしている方のトークショーやブックマルシェ（新刊・古本の販売、WS、読み聞かせなど）を開催。
 詳細：<https://bookfesta-shizuoka.com/>
 問合せ：同事務局（上記サイトより）

■絵本で森の環境教育！In 妙高

日時：9月19日（月・祝）12:30～16:30
 会場：国立妙高青少年自然の家（新潟県妙高市）（先着50人・無料）
 内容：絵本や体験を通して、子ども達へ「森の環境」の魅力を伝える方法を考える。
 講演・ワークショップ「絵本と鳥の巣の不思議」鈴木まもる（絵本作家）、ワークショップ「自然×絵本のプログラムを考えよう」大平光代（絵本の家「ゆきぼうし」代表）
 詳細：<https://www.mojikatsujji.or.jp/events/forum/2022/08/09/5811/>
 問合せ：文字・活字文化推進機構（03-3511-7305）

編集後記

出版科学研究所の調べによると、欧米のロックダウンなどの影響もあり、コロナ禍前より世界全体で日本の翻訳の売上が16%伸びたそうです。当誌でも何度かご紹介している日本の出版コンテンツを英語と日本語で見られるカタログサイト「Japan Book Bank」や7月号でご紹介した文化庁の日本書籍翻訳助成事業などをみても、その勢いはうかがえます。このような支援を活用し、日本の魅力的な書籍がどんどん海外にも広まることを願います（あ・吉）

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人：樋口清一

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

TEL：03-6273-7061

FAX:03-6811-0959

Web サイトもご覧ください

<https://www.jbpa.or.jp>